



第18回日本身体障害者補助犬学会学術大会

The 18th Annual Meeting of the Japanese Society of Service Dog Research

伴療一如(ばんりょういちによ)

～補助犬と勤務犬、二つの足跡が紡ぐ一つの志～

《開催趣意書》

主催：一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会

<http://www.jssdr.net/>

【目次】

■ ご挨拶	P1
■ 開催概要	P2-3
■ 開催予算案	P4
■ プログラム	P5
■ 各協賛項目共通事項	P6-7
■ 各種協賛項目募集要項	P8
共催セミナー	P9-11
企業展示	P12-13
抄録集広告掲載	P14-15
HPバナー・幕間スライド広告掲載	P16-17
■ 参考資料	P18
過去5年間の学術大会	P19

ご挨拶

伴療一如（ばんりょういちによ）

～補助犬と勤務犬、二つの足跡が紡ぐ一つの志～

人生の伴侶である補助犬と医療の一端を担う勤務犬が、役割（足跡）は違っても、人と犬が共に歩み、支え合い、より良い社会や命の輝きを目指すという一如（ひとつ）の強い志で結ばれることを願って

この度、第18回日本身体障害者補助犬学会の会長を拝命いたしました聖マリアンナ医科大学の北川博昭です。本学会は、視覚・聴覚・肢体不自由の方々の生活を支える法律で定められた補助犬たちの質向上と普及を目指し、障害を持つ方の生活の質を高め、社会参画を可能にすることを学術的に議論することなどが一つの目的です。

補助犬の中で最も歴史が古いのが盲導犬です。きっかけは第一次世界大戦下のドイツで、毒ガスで視力を失った多くの兵士達の自立を支援するため、1916年に世界初の盲導犬訓練学校がドイツに設立されました。日本での導入は1938年アメリカから盲導犬を連れてきた旅行者がきっかけで翌年にドイツから四頭の盲導犬が輸入されました。聴導犬は1981年に日本で初めて訓練が開始され、1983年に日本聴導犬協会が設立されました。介助犬は手足となるパートナーとのことで1992年に日本で初めて誕生し、車椅子生活を送る方々のQOL向上のために介助犬の有効性が広く知られるようになりました。本邦における歴史的転換点は2002年の「身体障害者補助犬法」の成立です。この法律の施行により、盲導犬・介助犬・聴導犬の3種が「補助犬」として公的に認められ、公共施設や交通機関、民間施設での受け入れが義務化され、社会全体での導入が本格的に進むこととなりました。この法律が成立するまでの道筋をつけ、最も強力で推進したのは元内閣総理大臣の橋本龍太郎先生でした。総理退任後も、身体障害者補助犬法の成立に向けて「超党派の議員連盟」の会長として、強かにリーダーシップを発揮されました。

一方、私どもの大学病院では、白血病に罹患したこどもさんの希望を叶えたい一心で10年以上前から勤務犬（ミカ、モリス、ハク）を日本介助犬協会の指導の下に導入し、自分の大学の医師、看護師にハンドラーとしての教育を行い、国で指定された補助犬とは異なりますが、特殊な環境で活動する「医療チームの一員」として多くの患者様の治療に結びつけることができました。本学会では、これら「動物を用いた介入」が、いかにして人間と医療をより深く、より温かくつなぐことができるのかを学術的に探求します。障害を持つ方々がより自由に、自分らしく生きられる社会のためにこの学会を通じて「一頭の力が、医療と日常を変えてゆく」をキャッチフレーズに学会を開催させていただければと思います。「犬がそこにいる」ことが、いかにして「人が生きる力」に変わるのか。本学会が、従来の枠組みを打ち破る新たな知見の場となり、日本の医療・福祉に新たな彩りを与える契機となることを切に願っております。



日本身体障害者補助犬学会 第18回学術大会
大会長 北川博昭
(聖マリアンナ医科大学 学長)



開催概要

- (1) 大会名 第 18 回日本身体障害者補助犬学会学術大会
(2) 主催学会 一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会
(3) テーマ 伴療一如(ばんりょういちによ)
～補助犬と勤務犬、二つの足跡が紡ぐ一つの志～
(4) 開催日時 2026 年 12 月 12 日(土) プログラム:13:00 ～ 17:00
懇親会 :17:30 ～
2026 年 12 月 13 日(日) プログラム: 9:00 ～ 17:00
※予定
(5) 開催会場 聖マリアンナ医科大学病院 新外来棟 8階 臨床講堂
〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1
(6) 大会長 北川博昭
(7) 開催形式 現地開催
(8) 参加費 会 員: 6,000 円 (事前登録 5,000 円)
学生会員: 1,000 円 (事前登録 無料)
一 般: 8,000 円 (事前登録 7,000 円)
一般学生: 1,000 円 (事前登録無料)
補助犬使用者: 4,000 円 (事前登録 3,000 円)
(9) 開催目的 本学会は、補助犬訓練事業者、補助犬使用者と、補助犬分野の
発展を願う、医療・獣医療・福祉専門職等が共に、補助犬分野に
関係する調査研究を行い、広い視野に立った情報交換を行い、分
野の発展を願う学術組織として世界で唯一の学術団体として設立
されました。
欧米では、盲導犬・介助犬・聴導犬の他にも、内部障害、精神障
害や発達・知的障害、PTSD 等々のさまざまな課題を持つ人を支
える犬としての補助犬が確立しつつあります。また、Animal
Assisted Intervention として動物介在療法・動物介在活動の医療
現場での活躍が増え、虐待や性被害を受けた子ども達の支援を
する Court House Facility Dog も社会的地位を確立しつつありま
す。これらプロフェッショナルな犬と人を育てるのは補助犬訓練事
業者であり、訓練事業者には、益々の社会的ニーズに応える力
が問われるといえます。
我が国でも、犬の力を要する人や子どもは増加しており、補助犬
分野の発展が待たれるところで、本学会で多岐にわたる調査研
究が行われ、活発な情報と意見交換が行われることが期待され
ます。
- (10) 参加人数 150 名
(予定)
(11) 参加対象者 補助犬使用者、補助犬訓練事業者、医療従事者、福祉関係者、
獣医師、行政関係者、教育関係者、司法関係者、学生、一般、そ
の他
(12) 公式 HP <https://supportoffice.jp/jssdr2026/>



- (13) プログラム 主題シンポジウム、一般演題(口演)、共催セミナー、
市民一般公開講座 等
- (14) 学術集会事務局 聖マリアンナ医科大学 小児外科学
〒216-8511
神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1
TEL:044-977-8111(内線 3222)
- (15) 運営事務局 有限会社ビジョンブリッジ内
〒162-0833
東京都新宿区筆筈町(たんすまち)43 新神楽坂ビル 2 階
TEL:03-5946-8848 E-mail:jssdr2026@visionbridge.jp

プログラム委員名簿

(順不同)

大会長	北川 博昭	聖マリアンナ医科大学 学長
委員	高柳 友子	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事
		社会福祉法人 日本介助犬協会 理事長
	水上 言	社会福祉法人 日本介助犬協会 常務理事
	山口 義之	公益財団法人 日本盲導犬協会 専務理事
	佐々木 信幸	聖マリアンナ医科大学 リハビリテーション医学 主任教授
	小森 学	聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科学 主任教授
	古田 繁行	聖マリアンナ医科大学 小児外科学 主任教授
	徳田 直人	聖マリアンナ医科大学 眼科学 准教授
	長江 秀樹	たつきファミリークリニック 院長
	長江 千愛	聖マリアンナ医科大学 小児科学 准教授
	足利 朋子	聖マリアンナ医科大学 小児科学 助教
	児島 良恵	聖マリアンナ医科大学病院 看護部
	星野 薫	聖マリアンナ医科大学病院 看護部

開催予算案

第 18 回日本身体障害者補助犬学会学術大会 開催予算案

2026/3/17 時点

収入の部

(税込金額)

項目	金額	備考
学会参加登録費(事前登録)	¥420,000	70 名想定
学会参加登録費(当日登録)	¥150,000	30 名想定
懇親会参加費	¥150,000	50 名参加費(1 名 3,000 円想定)
協賛金	¥2,425,000	1口 55,000 円×25 口、モーニング、ランチョン、企業展示
寄付金	650,000	
合 計	¥3,795,000	

支出の部

(税込金額)

項目	金額	備考
【事前準備費】	¥1,650,000	
運営事務局経費	¥800,000	事務局運営、ホームページ等作成管理、申込フォー作成、手話通訳手配
制作費	¥200,000	ネームカード、参加証明書、案内掲示、幕間スライド等
印刷費	¥650,000	フライヤー、ポスター印刷、抄録集
【当日学会運営費】	¥900,000	
会場借料	¥0	聖マリアンナ医科大学病院新外来棟 8 階臨床講堂
機材費(配送費含む)	¥50,000	
当日運営人件費	¥450,000	進行 D、オペレーター、サポートスタッフ他、旅費交通費含む
当日運営諸経費	¥140,000	座長・演者席のミネラルウォーター、運営スタッフ・ボランティア弁当、備品調達等
情報保障(手話通訳士)	¥150,000	手話通訳士
UDトーク	¥110,000	単語登録、機材および設定・運営
【講師謝金・交通費】	¥405,000	
謝金	¥250,000	
講師交通費	¥100,000	
プログラム委員交通費	¥55,000	
【懇親会費用】	¥400,000	80 名参加費(1 名 5,000 円想定)
【その他】	¥30,000	
雑費	¥15,000	文具・表彰状・花束等
手数料	¥15,000	振込手数料等
【報告書】	¥30,000	
協賛企業学会誌	¥20,000	1,000 円×20 企業
協賛企業学会誌 郵送	¥10,000	500 円×20 企業
【予備費】	¥35,000	
うち運営管理費(10%)	¥345,000	
小 計	¥3,450,000	
合 計	¥3,795,000	

プログラム

※プログラムは変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

市民公開講座

「小児の発達における動物の関わり」(予定)

座長:北川博昭 高柳友子

パネリスト:橋本久美子 安倍昭恵 山崎恵子 長江千愛

【2026年12月12日(土)】

■学術大会プログラム(13:00~17:00)

大会長挨拶・来賓挨拶

大会長講演

演者:北川博昭(聖マリアンナ医科大学 学長)

一般演題

市民公開講座「小児の発達における動物の関わり」(予定)

座長:北川博昭 高柳友子

パネリスト:橋本久美子 安倍昭恵 山崎恵子 長江千愛

■懇親会

場所: café & Meal MUJI(聖マリアンナ医科大学病院 新外来棟 5階)

【2026年12月13日(日)】

■学術大会プログラム(9:00~17:00)

モーニングセミナー

一般演題

シンポジウムⅠ、Ⅱ、Ⅲ

ランチョンセミナー

各協賛項目共通事項

申込締切	協賛項目
2026年 7月 31日(金)	共催セミナー/企業展示
2026年 9月 14日(月)	抄録集(学会誌)広告
2026年 12月 1日(火)	HP バナー・幕間スライド広告・寄付

■ 申込方法

以下協賛申込フォームに入力し、お申込をお願いいたします。

協賛申込フォーム : <https://vb.wufoo.com/forms/qq4himu1nwgm95/>

- ・申込フォームでのお申込完了をもって、正式な申込といたします。
- ・申込フォームからお申込が出来ない場合は、運営事務局までご連絡ください。

■ キャンセルポリシー

- ・全ての協賛項目に関して、お申込の取消しは一切お受け出来ません。また、お申込以降のキャンセルは、キャンセル料 100%を申し受けます。予めご了承ください。
- ・天災事変等やむを得ない事由により学術集会を開催することが不可能になった場合、主催者は会期の変更または開催の中止を判断する権限を有します。主催者はこれによって生じる損害について賠償の責めを負いません。
- ・自然災害、火災、疫病、戦争、テロ、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の要請・指示・命令・規制など、主催者の責めによらない事由により、主催者が学術集会の開催を制限・停止することとした場合、当該時点までにかかる経費を鑑み、申込料金の一部または全額を返金しない場合があります。予めご了承ください。

■ ご請求およびお振込みについて

- ・お申込締切後、運営事務局よりメールにて協賛項目の決定通知をお送りします。
- ・各協賛項目において、事前に調整等のご相談をさせていただく場合がございますので、請求書の発行前にお振込みをされないようお願いいたします。
- ・請求書は、メール添付でお送りいたします。請求書の郵送を希望される場合は、お申込の際に備考欄に郵送希望の旨をお書き添えください。

■指定銀行振込口座

・各種協賛費用のお振込は、下記の銀行口座へお振込みをお願いいたします。

銀行名	:みずほ銀行
種別	:普通
口座番号	:3073876
支店名	:飯田橋支店
口座名	:日本身体障害者補助犬学会学術大会 ニホンシンタイショウガイシャホジョケンガツカイガクジュツタイカイ

- ・協賛費用は、請求書発行日の振込期日までに指定銀行口座までお振込みください。
- ・振込手数料は、お申込者負担をお願いいたします。
- ・金融機関発行の振込書控えを持って、領収書に代えさせていただきます。

■企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて

製薬企業の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼向上のため、医療機関および医療関係者等に対する研究費の寄付、交流等の支出に関する情報を、製薬企業が自社のウェブサイトで公開することに伴い、各社が当学会に対し行う「学会等共催費等」の支払いに関し、各社で公開することに同意いたします。

■問合せ先

第18回日本身体障害者補助犬学会学術大会 運営事務局
〒162-0833 東京都新宿区笹筒町(たんすまち)43 新神楽坂ビル 2階
有限会社ビジョンブリッジ内
TEL:03-5946-8848 E-mail:jssdr2026@visionbridge.jp

各種協贊項目募集要項

共催セミナー

1. 開催日時
 モーニングセミナー：2026年12月13日(日) 9:00～9:40(予定)
 ランチョンセミナー：2026年12月13日(日) 12:30～13:30(予定)

2. 開催会場
 聖マリアンナ医科大学病院 新外来棟 8階 臨床講堂

3. 開催形式
 現地開催

4. 共催金額、開催時間、募集枠数
 ※開催方法に変更が生じた場合、費用等が変更となる可能性があります。

開催日	時間(予定)	セッション名	共催金額(税込)	募集数
2026年 12 月 13 日(日)	40分	モーニングセミナー	300,000円	1枠
2026年 12 月 13 日(日)	60分	ランチョンセミナー	500,000円	1枠

※金額の詳細につきましてはご相談ください。

<共催金額に含まれるもの>

以下の費用については、共催金額に含まれております。

- ① セミナー会場費
 ※控室のご用意はございません。
 - ② 会場付帯設備使用料(机、椅子、ステージ、音響・照明機材)
 - ③ 映像機材使用料(発表機材、プロジェクター、スクリーン、モニター、その他周辺機器)
 - ④ 人件費(映像機材担当オペレーター1名)
 ※セミナー会場、セッション時間中のみ対応となります。
 - ⑤ 共催スタッフ証(セミナー運営専用のスタッフ証)10枚
 ※共催スタッフ証では、第18回日本身体障害者補助犬学会学術大会の学術プログラムおよび関連プログラムはご聴講いただけません。参加登録をお済ませの上、ご聴講ください。
 - ⑥ 参加者用弁当・飲料
 - ⑦ 看板等の制作費(会場前・控室前看板、氏名掲示、デスクボード等)
- ※ご希望の場合には、本会で統一したデザインの看板を作成いたしますので、お持込みはご遠慮ください。

<共催金額に含まれないもの>

以下の費用については、共催費に含まれておりません。別途、各共催社にてご負担をお願いいたします。

- ① 座長、演者への謝礼金、旅費(交通費・宿泊費)等
- ② 共催セミナーの案内状(A4 チラシ)等の制作・印刷費
- ③ 座長・演者の飲食費
- ④ 会場内既設以外の機材および追加備品(録音、録画、同時通訳機材、感染症対策品等)
- ⑤ レイアウト変更費(学術集会の基本レイアウトからの変更を希望される場合のみ)
- ⑥ セミナー前後、開催中の追加運営要員(資料・お弁当配布、進行アナウンス)の人件費1名分

※上記の④～⑥の手配は、追加オプション(有料)となります。

ご希望の場合は運営事務局までメールにてご連絡ください。

※上記の④～⑥の手配に際しては、運営事務局より管理手数料15%を申し受けます。

予めご了承ください。

5. 今後のスケジュール(予定)

予定日程		予定内容
2026年	7月 31日(金)	申込締切
		希望セミナーテーマ・座長・演者候補のご提出締切
	8 月中旬	開催枠通知、請求書発行
	9 月上旬	テーマ、演題名、座長、演者の確定
	9 月下旬	追加オプション(有料)のご案内
	10月中旬	追加オプション(有料)申込締切
	10月下旬	追加オプション(有料)請求書発行
	10月下旬	運営事務局より共催ガイド送付
12月13日(土)	モーニングセミナー、ランチョンセミナー開催日	

6. お申込・ご請求等について

各協賛項目共通事項(P7-8)をご参照ください

※追加オプション費用は、10月下旬に運営事務局である有限会社ビジョンブリッジよりご請求いたしますので、開催日までにお振込みいただくようお願いいたします

7. プログラム編成について

・テーマ、座長・演者の選定は、最終的に貴社と主催者との合意の上で決定いたしますので、

運営事務局から開催枠通知が届く前に座長・演者へ内諾を取らないようご注意ください。

・お申込の際は、必ずセミナーテーマをご入力ください。

※申込時点での仮案でかまいません

・募集期間内にお申込いただいた内容に基づき、運営事務局にて調整の上、プログラム編成を決定いたします。

・テーマ、座長、演者については、できるだけご提案の内容を尊重いたしますが、同日程・同枠へのお申込が重複した場合、調整をお願いする場合やご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

・座長・演者への依頼等の諸連絡は、主催者との合意後に貴社にて行っていただきます。

8. 抄録集への掲載について

共催セミナーのテーマ・演題・座長・演者および抄録は抄録集に掲載いたします。

掲載内容の提出締切は、5. 今後のスケジュールをご確認ください。

9. 開催方式

共催セミナーは、現地開催のみとなります。

10. 注意事項

感染症等やむを得ない事情により、学会会期、会場時間、会場収容人数、開催形式を変更することがあります。この変更を理由として、お申し込みを取り消すことはできません。また学会・学術集会およびその運営について、運営事務局では、この変更によって生じる一切の損失に対して、責任を負わないものとします。

企業展示

1. スケジュール ※予定

搬入・設営日時 2026年 12月 12日(土) 午前
 展示実施日時 2026年 12月 12日(土) 午後
 2026年 12月 13日(日) 9:00～16:00
 搬出・撤去日時 2026年 12月 13日(日) 16:00～

2. 出展資格

学会および展示会の趣旨をご理解いただける、医療関連の機器・薬品・試薬・書籍・システム・サービスなどを製造・販売または取り扱う企業および団体

3. 出展申込解除

出展内容が本展示会の趣旨にかけ離れていると主催者が判断した場合は、申込受付を保留・お断りする場合がございます。予めご了承ください。

なお、出展お申込後は、主催者が不可抗力と認めた場合を除き、取消はできませんので、予めご了承ください。

4. 募集小間数(予定)

基礎小間 5小間

5. 小間タイプ・出展料

種別	出展料 (税込)	申込み (単位)	小間サイズ(予定)	会場
基礎小間	110,000円	1 小間	W3,600 mm × D1500 mm × H1,800 mm (展示台:W1,800mm × D745mm × H700mm)	企業展示会場

<出展料に含まれるもの>

- ・展示の準備から終了までの現場管理諸費用
- ・展示期間中及び設営・撤去時のスペース使用料

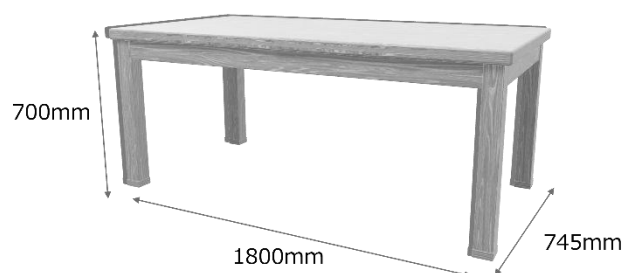
<出展料に含まれないもの>

- ・社名板の制作、装飾、コンセント等の電気設備、レンタル備品等は追加オプション(別途料金)となります。ご希望の場合は運営事務局までメールにてご連絡ください。

展示小間仕様図（予定）

《基礎小間イメージ》

- ・1 小間=W1,800 mm×D745 mm×H700 mm
- ・電気、コンセント等が必要な場合は、別途料金となります。
- ・クロスは付属しておりませんのでご持参ください



6. 今後のスケジュール(予定)

予定日程		予定内容
2026 年	7月 31 日(金)	申込締切
	8月上旬	請求書発行
	9月下旬	電気、レンタル備品の申込締切
	10月 下旬	運営事務局より共催ガイド送付
	12月 12日(土)午前中	設営
	12月 12日(土)・13日(日)	展示期間
	12月 13日(日)16:00～(予定)	撤去

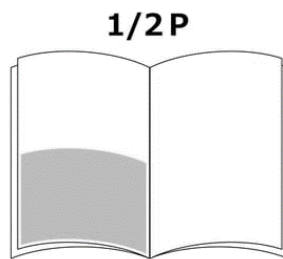
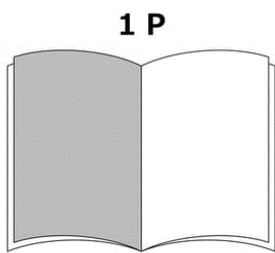
抄録集（学会誌）広告

1. 広告媒体名
第18回日本身体障害者補助犬学会学術大会 学術大会抄録集
(学会誌【日本補助犬科学研究】)
2. 閲覧対象
日本身体障害者補助犬学会会員、学術集会参加者、行政・医療・福祉関係者等
3. 配布部数
約200部 (A4版(縦297mm×横210mm))
4. 媒体制作費用
約550,000円(予定)
5. 目標金額
約550,000円(予定)
6. 広告掲載料

① 表4(カラー)	:¥220,000	※先着1社
② 表2(モノクロ)	:¥110,000	※先着1社
③ 表3(モノクロ)	:¥110,000	※先着1社
④ 後付け1ページ広告(モノクロ)	:¥55,000	
⑤ 後付け1/2ページ広告(モノクロ)	:¥33,000	
7. 募集期間
2026年4月1日(水)～9月14日(月)
8. お申込・ご請求等
各協賛項目共通事項(P7-8)をご参照ください

注)上記①～③に関しましては、お申込多数の場合先着順とさせていただきますのでご了承ください。また④⑤の場合、掲載場所に関しましては主催者に一任とさせていただきます。

※広告掲載サイズ・位置イメージ



HP バナー・幕間スライド広告

1. 広告媒体名
第 18 回日本身体障害者補助犬学会学術大会 公式 HP
2. 閲覧対象
日本身体障害者補助犬学会会員、学術集会参加者、行政・医療・福祉関係者等
3. 掲載期間
HP バナー：入金確認後より学術集会終了時まで
4. 広告掲載料
5. 募集期間
2026 年 4 月 1 日(水)～12 月 1 日(火)
6. お申込・ご請求等
各協賛項目共通事項(P7-8)をご参照ください
7. お申込口数による広告掲載要項
公式 HP、及び学術大会会場において、プログラムの幕間にスクリーンに協賛企業ロゴマークを表示いたします

	¥ 220,000	¥165,000	¥ 110,000	¥55,000
公式HP バナー	特大(300×100px)	大(200×50px)	中(150×50px)	小(88×31px)
幕間 スライド	動画広告・音声付き スライド等再生 (30秒以内)	音声なし スライド静止画等 社名等を単独で表示	協賛企業一覧として 社名・ロゴを合同掲載	

8. 原稿送付方法
お申込み口数にバナーデータ(JPEG、GIF、PNG のいずれか)とリンクを貼る URL を E-mail にて運営事務局までご送付ください。

(例) 第 14 回学術大会公式 HP におけるバナー掲載



(例) 第 14 回学術大会会場 幕間スクリーン表示



特記事項

※作業の都合により、HP に掲載されるまでは着金後 3 営業日ほど要する場合がございます。

あらかじめご了承くださいませ。

※イメージのため実際のサイズや掲載形式は異なります。

※HP バナーは、掲載期間に関わらず掲載料は一律です

※掲載場所は大会長の判断に一任してください

參考資料

過去5年間の学術大会

第13回 メインテーマ:「すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える」

大会長:川村 慶(川村義肢株式会社 代表取締役)

開催日時:令和 元 年 11 月 20 日(日) ~ 12 月 31 日(金)

開催場所:Web 開催(オンデマンド配信)

第14回 メインテーマ:「犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬 ~人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして~」

大会長:高柳 友子(一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事)

開催日時:令和 4 年 12 月 10(土)

開催場所:現地開催・Web 開催(オンデマンド配信)

第15回 メインテーマ:「持続可能な補助犬の育成を考える」

大会長:山本 真理子(帝京科学大学アニマルサイエンス学科 講師)

開催日時:令和 5 年 10 月 28 日(土)~29 日(日)

開催場所:現地開催

第16回 メインテーマ:「次世代の補助犬について考える ~人と犬の相互作用の構築に向けて~」

大会長:野口 裕美(四條畷学園大学リハビリテーション学部作業療法学専攻 教授)

開催日時:令和 7 年 1 月 11(土)~12 日(日)

開催場所:現地開催

第17回 メインテーマ:「多聞多識 ~補助犬使用者の方々の経験に耳を傾ける~」

大会長:三浦 靖史(神戸大学大学院保健学研究科 准教授)

開催日時:令和 7 年 11 月 1(土)~30 日(日)

開催場所:Web 開催(オンデマンド配信)